

カムカムはっぴい

秋号

発行元
株式会社 青森地銘石
青森市境町 1-3-16
フリーダイヤル
0120-75-1483



秋風が吹いて
きましたね。寒
くなつたと思つ
たら暑くなつた
りと例年とは
違つた天気が続
き、体調が
整わないとい
う方もいらつ
しゃつたかと思
います。これ
から寒さが一層
きびしくなつ
てきますので、
暖房器具や防
寒着の準備を
して冬を乗り
越えましょう☆

寒い寒いとも
言つてられま
せんので、ま
ずは心が温か
くなる話題か
ら。

青森ねぶた 岩手県山田町へ

九月二十四日(土)、東日本大震災で大きな被害のあつた岩手県山田町へ元気を届けるため、青森ねぶたが出陣しました。

当社は募金という形で協力させていただきました。募金していただいた皆様、ありがとうございました。

離子方、ハネットを含め総勢二百名の青森市民有志が集まつた「青森じゃわめぎ隊」



以前、カムカムはっぴいで紹介した北の太鼓衆の方々も多数参加されました。

午後から始まつたステージイベント。津軽三味線独奏や津軽民謡と手踊り、和太鼓演奏など盛りだくさん♪

日が暮れ始め、山田町の八幡鹿舞を先陣にねぶたもゆらりと出陣です。各団体が入り乱れた離子方。そうそう見ることのできない光景です。ハネトと山田町の方々も「ラッセル」



「ラッセル」



「ラー」と跳ね、一緒に祭り盛り上げ、楽しみました。震災以降、「何かした」と思つていた人たちの気持ちが一になり、青森から山田町まで



ねぶたを運び、ねぶた祭りを実現させました。たくさんの人と人との繋がりを感じたお祭りになりました。

秋のイベント



城下町弘前は和菓子の似合うまちです。和菓子や餅を商うお菓子屋さんも多く市民に親しまれてきました。

和菓子でまちを元気にしたいと、和菓子をキーワードにしたコンサート&イベント

「和菓子で描く、津軽の四季」が開催されます。

第1部ではふるさと津軽への思いを綴つた文章と和菓子
の画、そこから生まれたメロ
ディを題材に、朗読・若山多
香子さん、ピアノ演奏・瓜田
修子さんによって、津軽の四
季の風景や心象を表現します。
曲は青森出身の作曲家、小山
内たけとも氏のオリジナル作
品です。

第2部ではお菓子屋さん
が城下町の雰囲気を描いた新し
いお菓子「ひろさき」を発表
しトークセッションを行います。

東日本大震災、福島原発の事故と続き、

日本を暗い雲がおおつていますが子供たちの未来は明るいものであつてほしいと切に願います。絵本や児童書の購入など、青森の子供たちのために使ってもらえるよう、イベントの収益の中から青森県に寄付を行いたいと思います。



（開場午後1時30分）
▼会場 弘前文化センター 大ホール

▼入場料

大人 2000円
中学生以下 500円
（全席自由）

▼お問い合わせ

清水03-3723-4120
若山03-5385-0832
《チケット取り扱い》
青森市

（株）番地銘石

弘前市

紀伊國屋書店

平山万年堂

黒滝貴子司法書士事務所
カフェ・リエゾン

新幹線西口 まるめる植樹記念碑

十月初めの夕方、仙台で日本石材産業協会の支部長会議に出ていた社長に、青森市の旧知のS氏から電話がきました。

「新青森駅の西口に、津軽弁の日に因んで、まるめるの植樹をします。ついでに、その説明の石碑を建てたい、予算はあまり無いんだけど…」翌日仙台から新青森駅に戻り、予定地を眺めてから、電

話の主に会いました。

「新幹線の駅に青森らしい木が無い。有志で高木恭造氏の詩集まるめろに因んで、まるめろを植樹するので、何とか協力して欲しい」

何日か考えて、これはどうかなという石があったので、S氏に連絡したところ、現物を見たいと、当社の月見野工場に十月十二日に来てもらいました。責任者の伊奈かつべ



月見野工場での打合せ伊奈かつべ氏と一緒に

い氏は、きれいに磨かれたピンクの石を一目見て、「もつと自然な方がいいんですが。」
それではと、近くにある原石の中から、粗く割って一面だけ切つてある石を指差ししました。かつべ氏は即座に「いいですね」と即決。

あとは彫刻する文字原稿の検討です。文字はかつべ氏の自筆を彫刻することになり



記念碑を磨く当社の女職人?! 柴田さんです

そうです。ちよつとかわいいサイズの素朴な記念碑ですが、まるめろの木をしつかりと見守つてくれるでしょう。除幕式は十一月十二日、午後二時から場所は新幹線西口駐車場

月見野花店より

四月にオープンし、初めてのお盆とお彼岸を迎えました。たくさんのお客様方が来店してくださり、感謝でいっぱい

です。実は途中、たくさん仕入れた花が足りなくなり、何

度も仕入れに走つたことがあり

ました。私達の予想を遥かに超えるほどでした。

一生懸命、花を束ねてくれ



た、まつちゃん。水あげの仕事

方等、花のエキスパートのつーちゃん。片付け及び仕事の段取りのエキスパートのかんちゃん。まつちゃんを真ん中に助さん格さんのような強いヘルパーが登場し、皆の協力で何とか乗り切ることができました。お盆中は朝四時から夜十時頃まで、一人二役も三役もこなしてもらいました。

毎月、奥様のお墓参りにいらつしやるおじさま、お花や

店の展示等のアドバイスをいただいたおばさまなど、日々お客様とのふれあいの中で「お墓とは、祀るとは」と考えさせられました。今年の経



今日もまつちゃんが お花を束ねてます~

験を生かし、これからもお客様に愛される石屋を目指し頑張りたいと思います。

さて、十一月末で花屋は冬ごもりに入ります。再開は月見野霊園の開園期間と連動する予定ですので、来年の春から、またよろしくお願い致します。

あと一ヶ月、まだまだ頑張ります。

ますよお☆

☆お知らせ☆

三回以上お買い物をいただいたお客様にお渡ししているのですが、千二百円以上のお買い物で二百円割引になるカードができました。ぜひ、ご利用ください。



スタッフじゅりこのほのぼの育児日誌

産休が明けて戻ってきました☆



八月十五日に元気な女の子を出産しました。みんなから終戦記念日だねと言われます。親としては覚えやすくて良かった(笑)最近、息子の誕生日を間違えそうになるので(汗)

夏号で無痛分娩予定と書きましたが、麻酔が効くよりもお産の進みが早く痛みは半分以上普通になりました。ただ、息子の時と違い、陣痛から出産までの時間が短かったので体力を温存でき、産後の回復も早かったように思います。そして、息子は急遽、吸

引分娩になりましたが、娘は自力で産むことができたので達成感がありました♪

さて、私や主人、祖父母を独り占めのパラダイス期間が終つた息子。もちろん、焼きもちはしますが、娘が泣いていると、「泣いてるから助けてあげて」と優しい一面を見せることも。お兄ちゃんになつたからなのか、顔つきも少し変わったように思います。こうやって成長していくんでしようね☆

家族が増えたら書くネタも増えました(笑)更に賑やかになつた我が家の様子をまた次号でお届けしたいと思ひますのでお楽しみに♪

お墓の雪囲い

今年もお墓の雪囲いの季節がやって参りました。別紙にて詳しく説明してありますが申込み締め切りが十一月二十日迄になっておりますのでお早めにお願ひします☆

編集後記

青森にまた新しい記念碑が建ちます。まるめろの木の成長が楽しみです♪(じゅりこ)